

ル、本社名古屋市)が最優秀賞に選ばれた。

(本社名古屋市)を選んだ。

優秀賞は、人工透析の負担軽減装置を開発するジ

ニアルライト(本社浜松市)

と、AIの空間認識で社会

課題の解決を図るマップフ

ォー(本社名古屋市)が受

賞した。

また、永井科学技術財団

(永井淳理事長)から、素

形材分野に貢献する企業に

贈られる特別賞は、使用済

み茶葉などを再資源化する

S-Bridges(エス

ブリッジズ、本社浜松市)

が受賞した。

最優秀賞にジョイクル C N B「ベンチャービジネス大賞2025」



受賞者と審査員(前列左から3人目が

JOYCLEの小柳代表取締役)

に有害物質を除去し、再資源化できる小型プラントを開発。小柳裕太郎代表取締役は「ごみを運搬す、燃やす、排出した事業所内で低コストに再資源化できる」と提案した。

このほか中部経済産業局長は、児童発達支援施設を全国展開するリイ(本社名古屋市)が受賞。名古屋商工会議所会頭賞には、人工知能(AI)による越境電子商取引(EC)手続き自

動化を手掛けるSANO(本社名古屋市)を選んだ。

また、永井科学技術財団

(永井淳理事長)から、素

形材分野に貢献する企業に

贈られる特別賞は、使用済

み茶葉などを再資源化する

S-Bridges(エス

ブリッジズ、本社浜松市)

が受賞した。

中部二ユービジネス協議会(CNB、永井淳会長)は17日、名古屋市昭和区のスタートアップ支援拠点「ステーションAi(エイアイ)」で、イベント「二ツバサイクル事業に取り組むJOYCLE(ジョイクル)ユービジネスフェア2022

5」を開催した。「C N B ベンチャービジネス大賞2025」優秀賞の5社がプレゼンテーションを行い、選考委員の投票の結果、ごみのアップサイクル事業に取り組むJOYCLE(ジョイクル)